



一人ひとりの健康管理の支援

# 早期発見で90%以上が治ります ~受けよう!がん検診~



## 「がんとは無縁だ」と思っていませんか?

現在、日本人の2人に1人はがんにかかっており、胃・大腸・肺・乳房・子宮の5つのがんは日本人で死亡数の多いがんです。これらのがんは早く見つけることでほとんど治りますが、沖縄県においては、特に働き盛り世代(40~69歳)で死亡順位が高くなっています。このうち、県民が最も多くかかるがんは大腸がんです。また、子宮頸がんは20歳後半から急増し、罹患率<sup>※1</sup>は全国で一番高い状況です。

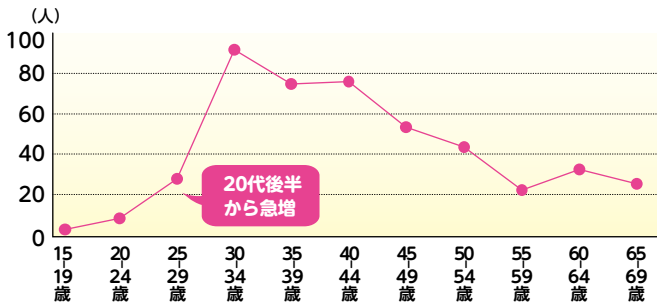
※1 罹患率…1年間に人口10万人あたりで表した新たに「がん」と診断された数

### 死亡順位の高いがん (2019年 沖縄県 40~69歳)

	男性	女性
1位	肺	乳房
2位	大腸	子宮
3位	膵臓	大腸
4位	胃	肺

出典：2019年厚生労働省人口動態統計

### 子宮頸がんの年齢階級別罹患数 (2018年 沖縄県 上皮内がん含む)



出典：平成30年全国がん登録罹患数・率報告

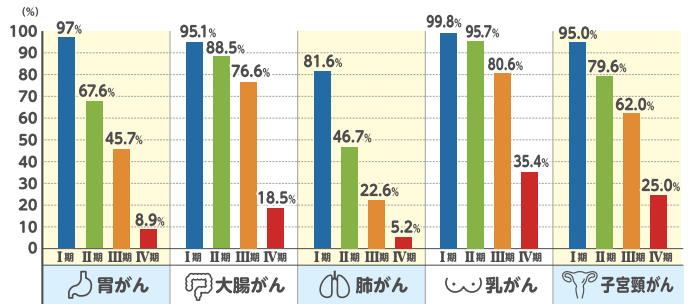
## 5つのがんは早期発見で90%以上が治ります

国は死亡数の多い胃・大腸・肺・乳房・子宮頸の5つのがん検診を推奨しており、早く見つけることで90%以上が治ります。<sup>※2</sup>早期発見のためには、国が推奨するがん検診を定期的に行うことが重要です。

これらのがん検診は、対象年齢、受診間隔、検査項目が定められています。

※2 ここでいう「治る」とは、診断時からの5年相対生存率(がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値)です。

### がんステージごとの5年相対生存率 (2010年~2011年)



出典:国立がん研究センター「がん診療連携拠点病院等院内がん登録生存率集計報告書」(2010-2011年 5年生存率の主な結果)

### 国が推奨する5つのがん検診

がん検診は「不要不急」にはあたりません。新型コロナ流行下でも、定期的に検診を受けることが大切です。



種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	胃X線(バリウム)検査 または胃カメラ	50歳以上	2年に1回
大腸がん検診	便潜血検査	40歳以上	年1回
肺がん検診	胸部レントゲン検査及び 喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	マンモグラフィ検査	40歳以上	2年に1回
子宮頸がん検診	子宮頸部の細胞診	20歳以上	2年に1回

### がん検診を受けるには?

各市町村で実施しています。各市町村がん検診窓口へお問い合わせください。

各市町村がん検診  
お問い合わせ窓口



~取り戻そう・健康長寿おきなわ~

詳しくは「健康おきなわ21」Webサイトで!

<http://www.kenko-okinawa21.jp/>



問い合わせ

健康長寿課 電話：098-866-2209 FAX：098-866-2289

広告



ワクチン接種にご協力を!



ワクチン  
について  
知ろう!